

山口茜さん

第69回全日本総合バドミントン選手権大会

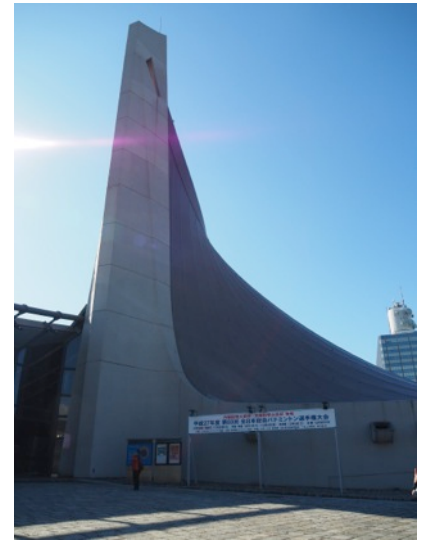
応援レポート

2015 年12月2日(水)～6日(日)国立代々木競技場第二体育館

去年は高校2年生で日本一。連覇をかけた5日間がスタート

日本一を争うこの大会で、山口さんは昨年17歳にして優勝を手にして話題をさらった。その後、世界で名だたる強豪と世界ランキングを競って来た山口さん。直近でも中

国～香港～マカオオープン
と3週連続で転戦を重ねてい
た。全日本選手権は、高校
生最後の試合でもあり、2連
覇を果たすかどうか注目
が集まった。



国立代々木競技場第二体育館。多くのバドミントンファンで賑わいました



パンフレットにもポスターにもチケットにも
昨年優勝の山口さん
が大きく登場

●バドミントンのルール●

試合は3ゲームマッチで行われ、先に2ゲームを先取したほうが勝ち。ファーストゲーム(第1ゲーム)、セカンドゲーム(第2ゲーム)と進め、もし1対1になった場合は、ファイナルゲーム(第3ゲーム)が行われる。1ゲームは21点で、先に21点取ったほうが勝ち。ただし、20対20になった場合は、延長ゲームとなり、2点差がついた時点で終了。

■ 12/2(火)初戦は2ゲーム連取で勝利

初戦の相手はインカレ準優勝・大学1年性の龍谷大学朝岡選手。のちのインタビューでは「初戦でミスもあり、納得の試合ではなかった」と山口さんは語っていたが、点を取られてもすぐ巻き返してくれて安心して応援！2-0のストレートで2戦目へ進んだ。

代々木体育館は、近くで試合が観れ、山口さんの跳躍の高さが実感できました



■ 12/3(水)2戦目。粘る相手に自信を持って打ち勝つ

2戦目は山陰合同銀行の漆崎選手。第1ゲームを21-14と先取したあと、漆崎選手に粘られて第2ゲーム

は18-21。最終ゲームは21-18で勝利を手に！試合後、山口さんのお母さんが「ここまで競らなくても」と苦

笑されていたが、見せ場を作ってそして勝つ、山口さんの勝負強さに感動した試合だった。



日テレのニュースより「(今年は)よりトップの選手ともしっかりと競った試合を経験してきたので後半疲れたけど気持ちで頑張れました」

■ 12/4(金)、準々決勝は高校生対決。延長を制した！

準々決勝の相手は同じ高校3年生の川上選手(富岡高校)。国際大会でも優勝経験があり、今大会でも勝ち進んで来た強さは侮れない。

山口さんはまず第1ゲームは順調に点差を広げ21-12で先取した。

第2ゲームはお互いに譲らない展開になり19-20と先

にマッチポイントを奪われた山口さんだったが、そこから3連取するのがさすが！。22-20で勝利をおさめ、準決勝に駒を進めた。



準々決勝からは、さらにプレス関係者が増加。注目される中で、試合に集中できるのもチャンピオンの証なのでしょうね



NHKインタビューに答える山口さん。「全日本総合で高校生との対戦でしたが、インターハイとかでもあまり相手が高校生だからと考えたことはなかったので、今日もいつもの気持ちでできました」

■ 12/5 準決勝で敗退。でも優勝に続く入賞、おめでとう！

準決勝はロンドン五輪代表の佐藤選手(ヨネックス)との対戦。立ち上がりからいつもの軽やかさより苦しそうな表情も浮かべる山口さん…。

第1ゲームを9-21と先取され、第2ゲームは追いつく場面もあったが15-21となり0-2で敗退。試合後にコーチに「疲れが抜けないままの

全日本選手権で、今の山口には精一杯の試合でした。ここまでよく闘った」と教えていただいた。本人は悔しい気持ちもあっただろうが、優勝に続く3位入賞はスーパー女子高生の称号にふさわしい結果。最後まで粘る山口さんの姿は感動的だった。入賞おめでとう、そしてありがとう！



1ショット1ショット、懸命にシャトルを追う山口さん。何度かコートに倒れ込む場面もありましたが、立ち上がって最後まで挑む姿には勇気をもらえました！

ゲーム間、小林コーチからアドバイスを受ける山口さん。試合中ミスショットしたときに小林コーチに視線を向ける、厚い子弟愛を感じる場面も。

試合の試合後にケガはないですか？と尋ねたら「大丈夫です」と山口さんは笑顔で答えてくれました

